

目指そう

# 「地域が守る 安心して暮らせる 安全なまち」

自分の命は自分で守る、  
自分たちの地域は自分たちで守る。

田原市では、『田原市総合計画』において、「安心安全」をまちづくりの方針として掲げ、その実現のために、各校区や各地区の自主防災会と連携し、防災対策の強化を進めています。災害が発生したとき、まず重要なのは、家族や隣近所、自主防災会が中心となる避難誘導や人命救助です。ここでは、自主防災活動の「現在」をご紹介します。市民の皆さんに果たしていただく役割について、一緒に考えてみたいと思います。

防災意識の向上を目指しています。

今年3月に開催した「田原市防災講演会」では、各指定地区から成果の発表が行なわれました。次頁では、その中で2地区の取り組みについてご紹介しています。P D C A推進のモデルとして、他の地区への波及が期待されています。

**昨**年は、能登半島地震（震度6強）、三重県中部の地震（震度5）、新潟県中越沖地震（震度6強）が相次いで発生し、地震災害に対する恐ろしさを痛感した1年でした。

来るべき自然災害に万全の体制で備えるためには、自主防災活動に対する市民の皆さんのご理解とご協力、そして積極的な参加が何より重要です。身近な訓練や講習会に積極的に参加し、防災リーダーや役員さんへのご支援をお願いします。

## 実

態調査の結果を受け、田原市自主防災活動推進協議会（自主防災会を取りまとめる組織）では、市と各校区、各自主防災会との連携強化や、市民の皆さんに信頼される自主防災活動の実現を目的に、平成19年度に『P D C A推進地区』を6地区指定しました。

P D C Aとは  
P（計画）のP、D（実施）のD、チェック（監視）のC、アクション（改善）のAを表した言葉で、これらを繰り返しながら、活動を改善していくこととする取り組みです。

指定地区は  
童浦校区、若戸校区、堀切校区、衣笠地区、福江地区、小中山地区です。  
取り組み内容は

指定地区では、それぞれ目標を設定し、地域特有の課題解決や住民の

**田**原市では、平成20年3月末現在、101地区で自主防災会が組織されています。昨年度、各自主防災会の取り組み状況などについて市で実態調査を実施したところ、次のような課題が見えてきました。

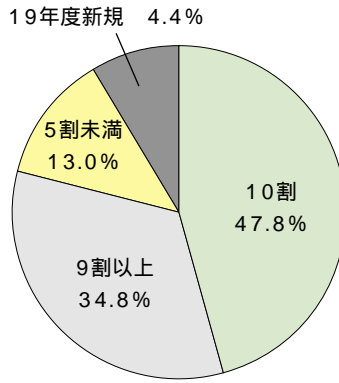
『防災台帳』の充実を

『防災台帳（防災名簿）』は、災害時に住民の安否を把握するため、自主防災会が自主的に整備しているものですが、まだ十分とは言えません。特にアパート住民や、援護が必要となる高齢者や障害者、外国人などは、住民の理解を得て台帳に登録することが望まれます。

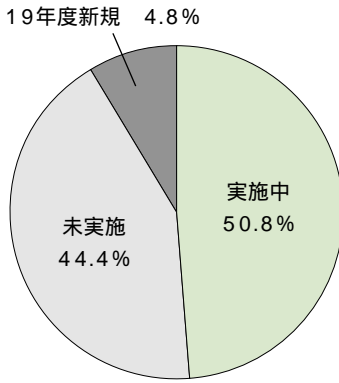
防災講習会の広がり

各自主防災会では、市と連携して講習会を開催していますが、より多くの市民の参加を得て、防災への理解を深めてもらう必要があります。

防災台帳（防災名簿）の登録率



防災講習会の実施



「田原市自主防災活動実態調査」平成19年5月  
101地区中67地区の自主防災会から回答

\*「防災対策」に関する  
ご意見をお聞かせください  
防災対策室  
☎23局3548  
✉ saigai@city.tahara.aichi.jp